

さがみはらの森林の現状

相模原市面積の約6割(19000ha)が森林で、丹沢山系には奥山林と里山林が、相模原段丘には斜面林と平地林が残っています。しかし多くの森林は手入れが行き届かず、その手入れが求められています。

出典・参考文献・関連情報
(青文字はリンクしています)

■ 手入れが行き届かない森林が多い現状です

森林の多くは先人が手入れして利用してきましたが、燃料革命と木材の輸入拡大で国内の森林は利用されなくなり放置されるようになりました。そのため森林の荒廃が進み、環境悪化や災害発生などが心配されています。



放置された奥山林



放置された里山林



放置された平地林

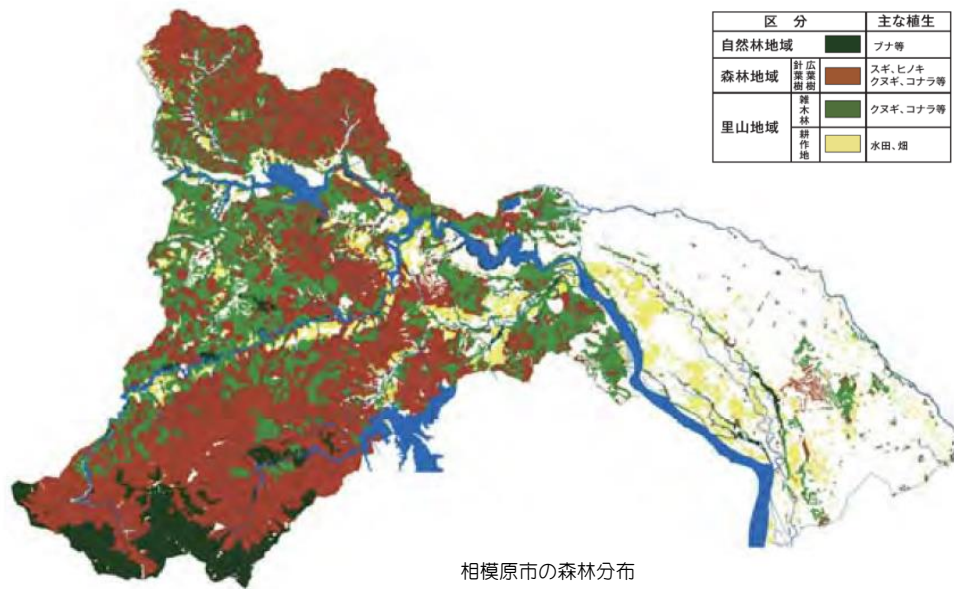


図:[相模原市水とみどりの基本計画改訂版(平成27年)]より

■ 森林の手入れと活用が必要です

相模原市の森林の大部分は水源林として、市内だけではなく横浜市や川崎市への水の供給源にもなっていますので、しっかりした手入れと活用が求められています。



手入れされた奥山林



手入れされた里山林



手入れされた平地林